

# 令和5年度 施政方針

## 「躍動のまち」「安らぎのまち」 「満足のまち」を目指して

3月8日に開催された第1回鬼北町議会定例会1日目、兵頭町長が「令和5年度施政方針」を述べました。その概要をお知らせします。

施政方針とは、この1年間にどのような施策を行うのか、町の進むべき指針を示すものです。

### 特色ある産業を創り育て、 誰もが元気に働けるふるさとづくり

#### 農業の振興

農業経営を維持するため、国の補助金等を活用し、物価高騰対策に取り組みます。

体験農園、農業研修制度及び農業法人等への農業就業者支援事業の活用や、就農希望者に対するの農地探しや技術研修など、一貫した就農支援を行い、農業の担い手の確保、育成に努めるとともに、担い手に対する農地の集約化や集団化等を通じた農地の効率的かつ総合的な利用促進を図ります。また、スマート農業の推進について、担い手農家、北宇和高校、新居浜高専、関係機関との協議を進めます。ジビエのペットフード加工施設を整備し、有害鳥獣捕獲者の労力の軽減等を図ります。



柚子やキジをはじめとする特産品を使った加工食品などを開発・製造し、特産品の高付加価値化に取り組みます。

#### 林業の振興

新規林業従事者の労働環境の整備、森林環境譲与税を活用した林業就業者確保事業、森林環境整備事業の拡充を行い、南予森林管理推進センターで実施している「南予森林アカデミー事業」を推進することにより、林業の担い手の育成確保と森林整備推進を図ります。また、関係機関と協議し、木質バイオマス発電事業を推進します。



#### 商工業の振興

商工会との連携を図りながら、コロナ禍の影響により疲弊

した事業者の持続可能な企業活動の支援に努めます。

雇用奨励金の交付や、資格取得にかかる経費の補助など、「鬼の町で暮らす・働く支援事業」を引き続き展開するとともに、中小企業振興資金制度の融資枠拡充など、企業活動における経済基盤の確保・支援に取り組みます。

愛媛県や他の自治体との連携による、ふるさと納税「共通返礼品」の開発協議を進めるほか、「ふるさと納税ポータルサイト」による発信力強化を図り、納税者の拡大に取り組みます。

#### 観光・物産の振興

「鬼の造形大賞」「鬼のウォールアート」「鬼嫁コンテスト」などの「鬼のまちづくり事業」を継続するとともに、予土線沿線市町とJR四国との連携事業を展開し、町の魅力発信と観光による交流人口の拡大に取り組みます。

地域DMO設立準備や観光・物産事業者の創出に向けての土壌形成など、観光まちづくり事業について、協議・準備に取り組みます。

成川渓谷休養センターのリニューアルオープンにより新たな誘客を図るとともに、企業や観光事業者に対する「観光施設

整備事業費補助金」を創設し、観光客の増加に取り組みます。

### 雇用の創出

商工会やハローワーク宇和島など就労支援機関と連携を図り、北宇和高校生を対象とした企業説明会などを実施します。「起業チャレンジ支援事業費補助金」を活用し、雇用の創出を促すとともに、企業が参入しやすい環境づくりを行い、サテライトオフィス施設とワーケーション拠点施設への事業所誘致を進めます。

### 女性の活躍推進

女性が仕事で自己実現し、家庭や子育て、趣味にも取り組める環境づくりに努めるとともに、本町で働きながら子育てをしたいと思える魅力あるまちづくりを目指し、結婚から子育てまでの切れ目のない支援、女性が活躍できる場の支援、整備に努めます。女性が新規就農に取り組める環境整備に努め、認定農業者の女性割合が増加するように、就農希望者を募ります。男女の役割に対する固定概念を払拭し、男女が共にワークライフバランスの両立が実現されるよう、意識の醸成や支援に努めます。

## 美しい自然を守り活かし、誰もが訪れたい、帰りたいと感じるふるさとづくり

### 資源循環型社会の推進

町民に対してフードドライブ、フードバンク活動の認知度の向上に努め、県や社会福祉協議会等と連携して、食品ロスの削減を図り、生ごみ処理に対する新たな補助事業による家庭系ごみの減量化に努めます。プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、宇和島地区広域事務組合の構成市町と連携し、プラスチックの再資源化に向けた新たな回収方法の協議を進めます。

### 環境保全の推進

広見川等をきれいにする清掃活動や環境浄化微生物「えひめA1-1」の普及活動などにより、水辺環境美化に努めます。環境美化に対する意識啓発として、広見川等統一清掃や花いっぱい運動など、町民による環境保全への取り組みの継続を支援します。

### グリーン・ツーリズムの推進

南予地域では「ふるさと南予感動体験」と題した体験型修学旅行の誘致・受入れに向けた取り組みが進められていることから、農家民宿、農家レストラン、貸農園、観光農園の開設、民家の改修等の支援など、さらなる受入れ体制の充実と魅力の向上に努めます。レンタルサイクルを活用し、広域的な観光イベントや長期滞在型の広域観光ルート開発などに取り組みます。

### エネルギー対策の推進

2050年度までの地域脱炭素社会の実現を目指し、地域課題の解決、地域の魅力と質を向上させる取組みとして、太陽光発電システムの補助、蓄電池・燃料電池システム設置のための補助、ゼロ・エネルギー・ハウス導入のための町単独補助事業や、国交付金事業の活用など、多様な事業展開により地域に根ざした再生可能エネルギーの普及を継続的に進めます。

## 福祉の充実で安心生活を確保し、誰もが安心して暮らせるふるさとづくり

### 地域医療体制の充実

町立北宇和病院を中核に、町立診療所や民営医療機関と連携を図りながら、地域医療の適正化に努めます。社会福祉法人旭川荘との連携を一層推進し、北宇和病院における良質な医療の提供に努め、その一環として、「医師確保奨学金制度」に加え、人材の確保・定着促進を図るため、「奨学金返還支援制度」を創設します。北宇和病院の医療機器の更新を行い、疾病の早期発見、治療に努めます。



### 高齢者福祉の充実

社会福祉協議会と連携し、地域の高齢者が気軽に立ち寄ることが出来る「地域サロン」の運営を支援し、地域サロン等での介護予防の啓発に努めるとともに、介護認定には至らない虚弱な高齢者の方が利用可能な「住宅改修事業」や「福祉用具購入事業」を新たに創設するなど、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられる環境づくりに取り組みます。幅広い年齢層に対する「認知症サポーター講座」の実施、「見守りネットワーク」の取り組みを継

### 子育て支援策の充実

保育所の統合により、新設の「さほくの里保育園」と「認定こども園さくら」の3園体制とし、充

とし、地域ぐるみで高齢者を守る活動をより一層進めます。

シルバー人材センターの活動を支援し、高齢者の生活と社会参加による生きがいの充実を図ります。本年10月に本町で開催される、ねんりんピックペタンク競技の成功に向けて準備を進めます。



### 障がい者福祉の充実

障害福祉サービスや障害児通所給付の提供、精神障害者小規模作業所の運営などを通じて、障がい者や障がい児の社会参加や就業機会の提供をさらに進めます。

### 障がい者福祉の充実

社会福祉協議会をはじめ、ボランティア団体、NPO法人、自治会などの地域福祉活動を支援しながら、子どもから高齢者、障がい者など全ての人が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう、地域における支え合いを実現するため、複雑化する課題へ包括的・重層的に支援していく体制を強化します。

## 整った生活インフラで快適生活を守り、誰もが安全・快適に過ごせるふるさとづくり

### 防災・減災対策

広報、回覧、宇和島ケーブルテレビを利用した啓発を強化し、防災情報の提供についても継続して実施します。町民と町職員が共同で防災訓練を実施することにより、防災力の強化を図ります。また、消防団員の確保に取り組みとともに、装備品や老朽化した消防施設の更新を計画的に実施し、消防団の充実強化を図ります。

### 情報基盤の整備・活用

計画的な機器更新を図るとともに、地域の生活環境の維持・発展を支え、生産性向上や事業の効率化を実現するため、ローカル5Gを活用し、地域課題の解決や地域の活性化、高校魅力化に取り組みます。サテライトオフィス施設やワーケーション施設などを活用し、企業誘致や移住促進につなげます。

### 都市計画の推進

JR近永駅を中心とした総合的・一体的なまちづくりを推進するため、引き続き「近永駅周辺賑

### 空き家対策

危険な空き家の適正管理の推進に努めるとともに、入居可能な空き家は、移住希望者などのマッチングを図り、有効活用を努めます。活用可能な空き家を借り受け改装し、安価な家賃で貸し出すサブリースにも引き続き取り組みます。



### 住宅・公園の整備

賃貸共同住宅の整備にかかる事業費の一部を補助する「民間賃貸共同住宅整備補助事業」を新たに創設し、企業、金融機関、不動産事業者と協働で人口減少対策に取り組みます。

### 上下水道の整備・保守

施設の耐震化や改築・更新等、計画的に老朽化施設等の整備を



### 交通安全・防犯対策

危険箇所へのガードレール設置など、交通安全対策に努めます。運転免許証自主返納者に対する給油・タクシー補助券の配布により、自主返納を促し交通事故の減少を目指します。防犯灯のLED化への補助金交付により、犯罪抑止効果の促進を図ります。

行います。上下水道の電気計装設備の更新工事や、西野々、生田地区の配水管の耐震管への更新に取り組みます。農業集落排水施設の接続率の向上と合併処理浄化槽の普及など地域の実情に合った生活排水処理施設の整備に取り組みます。令和5年4月1日に農業集落排水事業と公共浄化槽等整備推進事業の特別会計を一つの公営企業会計に移行し、更なる健全経営を目指します。

# 充実した教育環境で心豊かな人を育み、 未来を担う子どもたちをみんな育てるふるさとづくり

## 学校教育の充実

自ら学び考える力を付けさせるとともに、学習習慣、生活習慣の確立を図り、学力の向上につなげます。

小・中学生の英語の学力向上のため、外国語指導助手の常時配置や英語検定受検料の補助などを行い、支援の強化に努めます。

## 特色ある学校づくりの推進

各学校の創意工夫により、地域資源や地域の人材を活かした教育活動の充実を図ります。またICTを活用した教育の充実を図るため、GIGAスクール構想に基づいた児童生徒1人1台端末の活用を推進します。

老朽化が進んだ教育施設・設備の改修を行うとともに、令和6年3月の全校舎完成を目指し、広見中学校校舎の建築を進めます。

北宇和高校の安定した生徒の確保を図るため、全国募集に取り組むほか、令和5年8月完成予定の北宇和高校教育寮については、学校・地域・ハウスマスターとの連携を図りながら、適

正な管理運営に努めるとともに、学校林を活用した魅力ある寮として、全国に発信してまいります。



## 生涯学習・生涯スポーツの充実

誰でも気軽に取り組めるスポーツプログラムの開発などにより、町民の健康増進を図るとともに、広見川上り駅伝や駅伝競走・マラソン大会などのスポーツイベントを開催します。

総合型地域スポーツ活動を促進し、鬼北町広見B&G海洋センターの温水化、クラブハウスの整備検討を行います。

## 伝統文化の継承・発展

伝統文化を映像に記録し後世に伝えるデジタルアーカイブ事業を実施します。あわせて、公民館活動や学校、他の市町とも連携し、伝統文化の後継者を育成します。

## 文化財の保護・活用

等妙寺旧境内の一般公開に向け、ガイダンス施設（奈良山等妙寺歴史交流館）の整備を行い、その活用を図ります。

町の歴史・文化に関する講座、講演会などのイベントを実施し、町の歴史遺産について、町内外の多くの方に魅力を発信します。

## 人権尊重・男女共同参画

生涯学習の場や「人権を考える集い」などの会合を継続的に開催し、人権意識の高揚を図ります。

自治会、PTA、防災士における女性の割合や女性委員の登用を推進するなど、男女の声が共に地域社会に反映される体制づくりを支援します。

# 人々のつながりを深め、ともに行動し、 誰もが自ら考え取り組むふるさとづくり

## 町民による地域活動の活性化

交流事業や地域活動を推進し、町政に対する町民の理解と関心を高めるよう、わかりやすい情報提供を行うとともに、主体的な町民活動の支援に努めます。

## 予算編成の基本方針

令和5年度当初予算の編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症との共存を前提とし、不透明な社会情勢も踏まえ、歳出入算の重点化に努めました。第二次長期総合計画（後期基本計画）に掲げる6つの基本目標に基づく推進施策については、継続的に取り組むこととして、重点プロジェクトとして掲げる4つの目標、「安心して働けるまち」、「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「子どもに



やさしいまち」、「豊かでくらしやすいまち」を達成するために、観光まちづくりの推進、子育て関連予算の拡充、交通弱者対策の強化などの施策を重点的、優先的に取り組むこととしました。また、感染拡大防止と社会経済活動の両立が、将来にわたり持続可能となるような、財政基盤の構築のために、財源確保についても徹底して見直しを行いました。